

第1学年 美術科

1. 学習のねらい

学習のねらい	<p>① 自然や身近なものなどのよさや美しさに対する関心を持つ心を育てる。</p> <p>② 感性や想像力を働かせ、自然や身近なものを観察し、よさや美しさを感じ取る力を身につける。</p> <p>③ 表現意図に合う多様な表現方法を工夫し、美しく表す力を身につける。</p> <p>④ 自然、美術作品や生活の中の造形などに親しむ心を育てる。</p>
使用教材	<p>《教科書》 光村図書出版 美術 I</p> <p>《使用教材》 美術資料 (秀学社)</p> <p>《使用道具》 ポスターカラーセット、鉛筆、彫刻刀</p>

2. 評価の観点及び方法

①美術への関心、意欲、態度	<p>「美術的な活動に関心を持ち、意欲的に表現や鑑賞の創造活動に取り組むことができる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しく生き生きと表現しているか。 ・向上しようと創意工夫し努力しているか。 ・鑑賞することを楽しんでいるか。 	<p>【授業中の発言、態度】</p> <p>【活動状況】 【作品における感想】</p> <p>【定期テスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分から積極的に学習に取り組むことができるか。 ・粘り強く取り組むことができるか。 ・準備物や用具の取り扱い、片付けができるか。
②発想や構想の能力	<p>「感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどをもとに、豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、心豊かで創造的な表現の構想をすることができる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分らしく生き生きとした表現の構想を練っているか。 	<p>【作品制作の下絵（アイデアスケッチ）など】 【途中作品や完成作品】 【定期テスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のイメージをさまざまな角度から考えることができるか。 ・イメージしたものを表現することができるか。
③創造的な技能	<p>「表現の技能を身に付け、造形感覚や感性などを働かせ、自分の表現方法を創意工夫し創造的に表すことができる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美しく創造的に表現しているか。 	<p>【製作過程の中での材料や用具の使い方】 【途中作品や完成作品】</p> <p>【定期テスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな表現を工夫し、より良いものに創意工夫することができるか。 ・材料や用具の特性を生かし、表現することができるか。
④ 鑑賞の能力	<p>「作品に親しみ、感性や想像力を働かせて、よさや美しさを感じとったり味わったり、理解したりできる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな見方や感じ方や発想の仕方、知識等を学びとり、多様な表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り味わつ 	<p>【授業中の発言、発表】</p> <p>【鑑賞ワークシート】</p> <p>【作品における感想】</p> <p>【定期テスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品を鑑賞し、よさや美しさを感じとることができますか。

	ているか。	・作者の思いや意図を感じとり、自分の言葉で表現できるか。 ・自分の作品を鑑賞し、評価できるか。
--	-------	--

3. 年間計画

	各单元と主な内容	観点別評価の具体例
1 学 期	・感じたことを話し合おう（鑑賞） 「くつのスケッチ」	感じ取ったことを話し合う活動に関心をもつ。（関） 作品を見て感じ取ったことを話し合い、見方を広げる。（鑑）
	・美術って何だろう（鑑賞）	「美術とは何か」を自分なりに考える。（関） 作品や作者の言葉から感じ取ったことを話し合う。（鑑）
	・見て描く楽しみ（絵画・彫刻） 「くつのスケッチ」	スケッチを通して感じたままにあらわすこと楽しむ。（関） 身近なものを見つめ、感じ取ったことを大切にする。（発） 材料や用具の生かし方を考え、工夫してあらわす。（技）
	・絵文字がしゃべりだす（デザイン・工芸） 「文字絵」	楽しく情報を伝える文字に関心をもつ。（関） 文字の形や意味などから発想を自由に広げる。（発） 材料や用具の生かし方を考え、工夫してあらわす。（技） お互いの作品を鑑賞し、意図や工夫した点を話し合う。（鑑）
	・絵や立体を動かしてみたい（絵画・彫刻） 「パラパラ漫画」	連続した動きをあらわす表現に関心をもつ。（関） アイデアをスケッチにまとめ、動きを工夫して構想を練る。（発） 形や色を変化させ、動きを確かめながらつくる。（技） 動きのおもしろさや工夫した点に注目して鑑賞する。（鑑）
	・心安らぐ私の場所（絵画・彫刻） 「絵手紙～思い出の風景～」	自分の好きな場所を探す。（関） 鉛筆や水彩絵の具などの使い方を工夫して描く。（技） 作品を見て、その場所を選んだ作者の気持ちを感じ取る。（鑑）
2 学 期	・風神・雷神 自然と人と（鑑賞）	受け継がれてきた独自の美意識や創造性に関心をもつ。（関） 風神・雷神に込められた人々の思いを感じ取り、話し合う。（鑑）
	・自然とむき合う日本の美（鑑賞）	自然や季節の美しさを取り入れた日本の美術に関心をもつ。（関） 形や色などの使い方に注目して、作品の世界を味わう。（鑑）

	<ul style="list-style-type: none"> ・木のぬくもりと暮らす（デザイン・工芸） 「木彫鏡」 	<p>生活を美しく心豊かにする木の魅力に気づく。（関）</p> <p>用途や機能、使う人の気持ちを考えて構想を練る。（発）</p> <p>彫刻刀等の使用する用具を正しく使う。（技）</p> <p>用と美の調和や材料の特徴を生かした工芸のよさを味わう。（鑑）</p>
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちを伝えるデザイン（デザイン・工芸） 「ポップアップグリーティングカード」 	<p>気持ちを形や色にあらわして伝えることに興味をもつ。（関）</p> <p>受け取る相手の気持ちを考えて、構想を練る。（発）</p> <p>紙の特徴を生かし、工夫してあらわす。（技）</p> <p>つくった作品を身近な人に渡し、交流を深める。（鑑）</p>